

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第 154 回

平成 30 年 10～12 月期 実績

平成 31 年 1～3 月期 予測



34 商工会地域(白部分)

平成 30 年 12 月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸太田町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 225社</p> <p>製造業51 建設業38 小売業73 サービス業63</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	平成30年10月～12月期実績、及び平成31年1月～3月期の見通し
5. 調査時点	平成30年11月15日

6. DIとは *Diffusion Index* (景気動向指数)の略。

各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。

「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満

「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満

「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>

- 中国財務局 (中国地方の経済情勢)

<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizajyousei/jouseishinchaku.html>

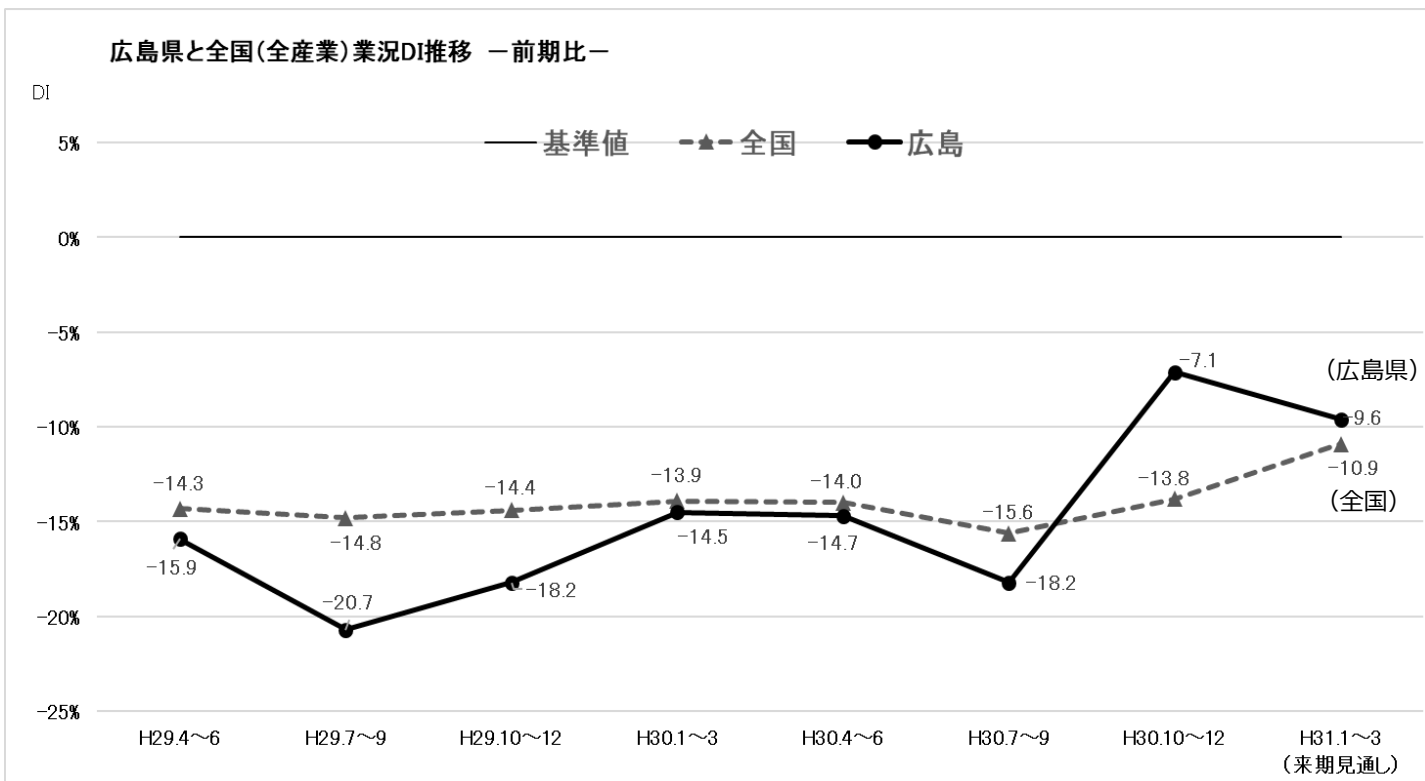
- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

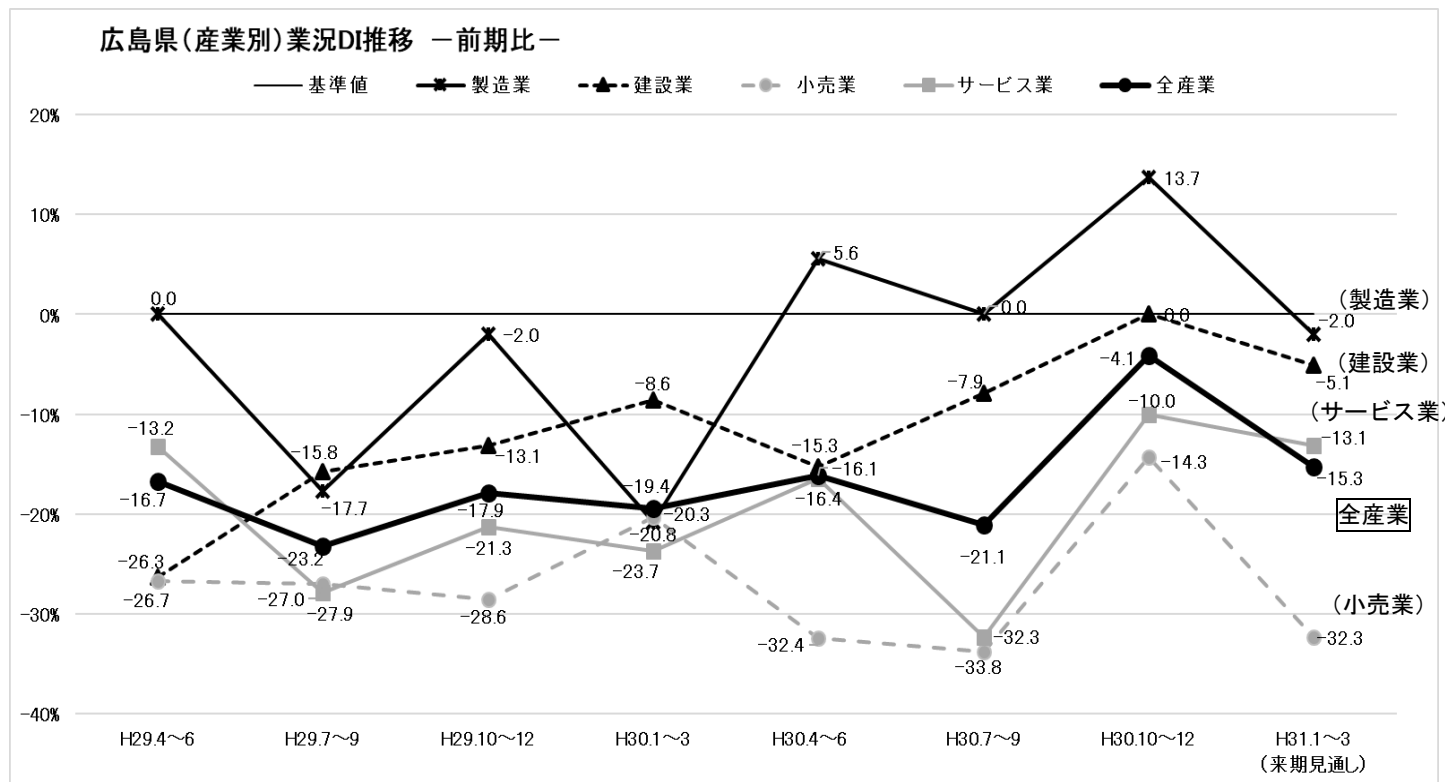
1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-18.2から-7.1(11.1ポイント)に大きく回復、全国DIを乖離し上回る。来期は小幅に悪化、一方で全国は小幅に改善の見通し。



2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ。

広島県産業別の今期業況DIは、すべての業種、同様に全産業も大きく上昇。建設業は2期連続の改善。来期は全業種で下降推移する見通し。



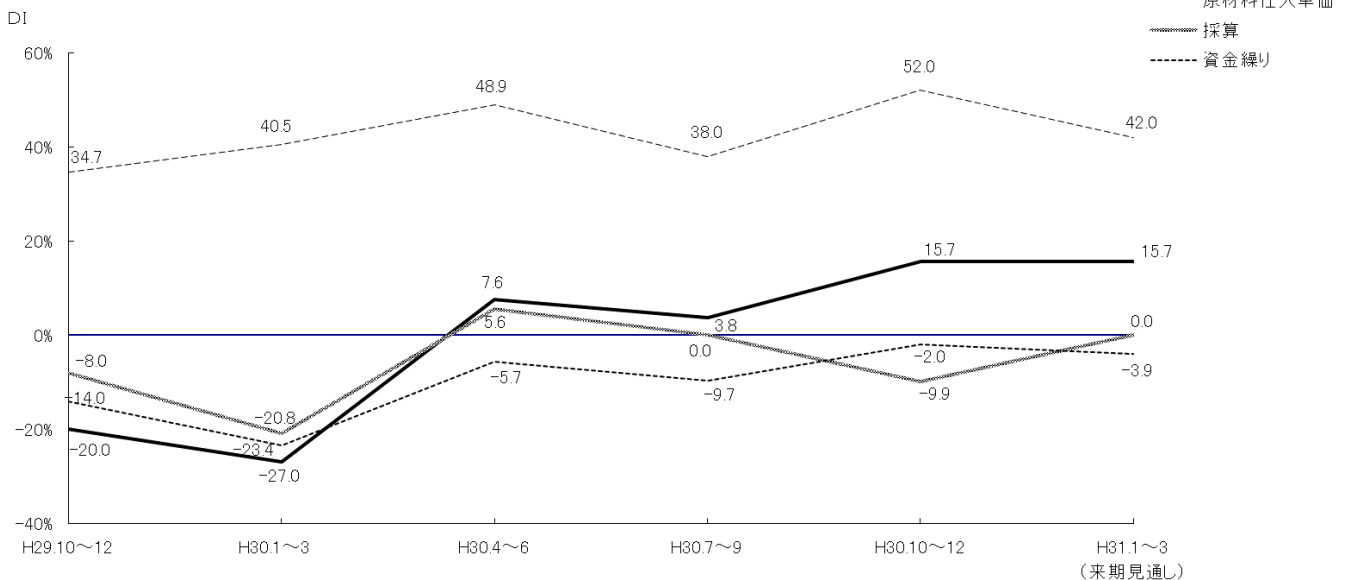
製造業 (商工会地域)

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	H30.7～9	H30.10～12	前期との比較	H31.1～3	今期との比較	(今期)	(来期見通し)	
売上額	3.8	15.7	↗	15.7	→	売上額・資金繰りは回復上昇。 一方で採算は大幅に悪化。		
原材料仕入単価	38.0	52.0	↗	42.0	↘			
採算	0.0	-9.9	↘	0.0	↗	(来期見通し) 売上額・資金繰りでほぼ横ばいの予測。		
資金繰り	-9.7	-2.0	↗	-3.9	→	採算は大きく改善の見通し。		

広島 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



企業のコメント

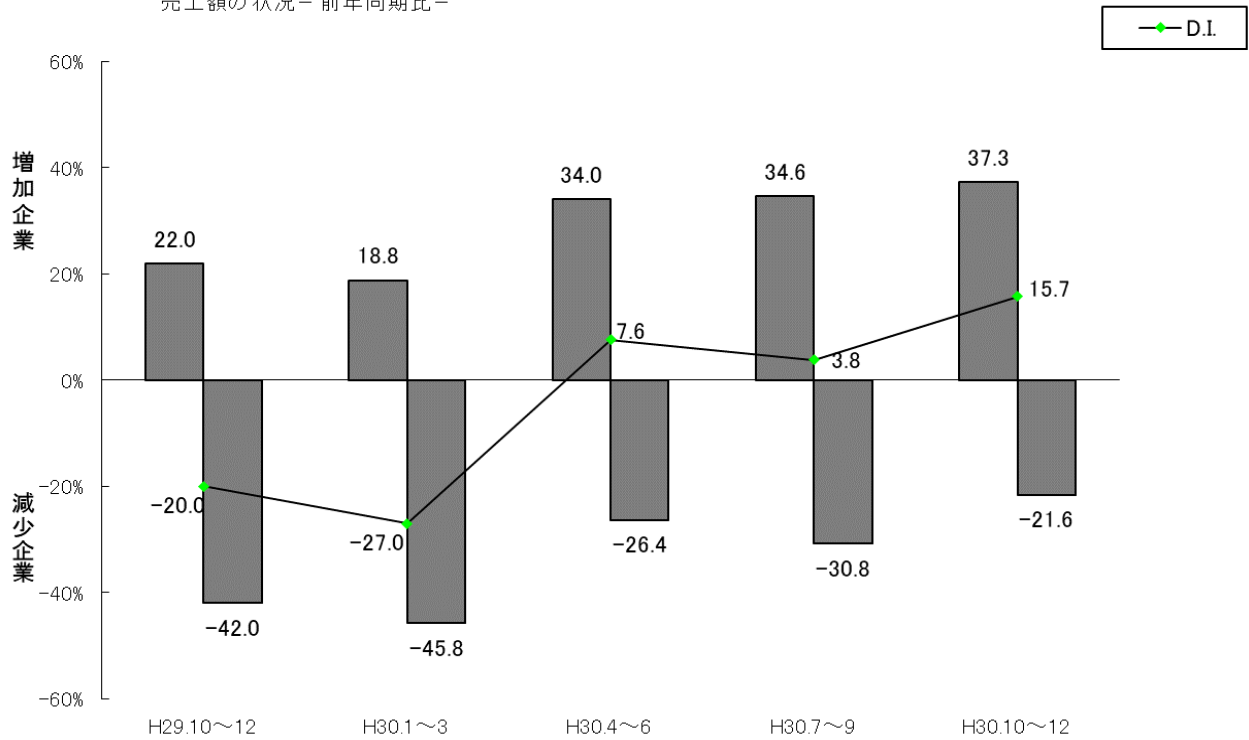
- ・ 同業者の倒産により引き継いだ製品がいくつかあり、また製品の形状の変更により弊社の設備が活かされるものがあったりしたため受注数が増加した。状況の変化が激しく、その対応力が必要。【紙製品製造業】
- ・ 計画生産ができず、市場の動きが直接影響している。そのため機会損失となっている。【タイヤ・チューブ製造業】
- ・ 事業承継を行い、代表取締役を交代した。それに伴い従業員を一人雇う計画がある。なかなか、良い人がやってこない。【木材薬品処理業】
- ・ 当社の主要品目である「建設機械部品」を始めとし受注状況は好調である。しかし原油の値上げに伴い、原材料の高騰など、厳しい状況になっている。【金属素形材製品製造業】
- ・ 国内の牡蠣販売は、額・量ともに減少している。御社は今年東京事務所を立ちあげる等、企業努力を実践しているが、牡蠣をもっと安心しておいしい食物である事を、官民あげて(特に広島の県魚)広報を願いたい。【水産食品製造業】
- ・ 今日現在引合いは多くきています。しかし製造の限界があり、全てを受けるためには厳しく、現場の対応できる状況下で進めていかざるを得ない。可能な限り対応して進めて参ります。【畜産食品製造業】
- ・ 運賃の値上げで付随する物がじわじわと値上がりしてきている。県外からの注文に対して送料の値上げは顧客の減少にも関係してくる。10月から消費税の値上げにより店の規模の縮小や廃業等の選択肢も大きくなると思う。【調味料製造業】

製造業 (商工会地域)

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島 製造業

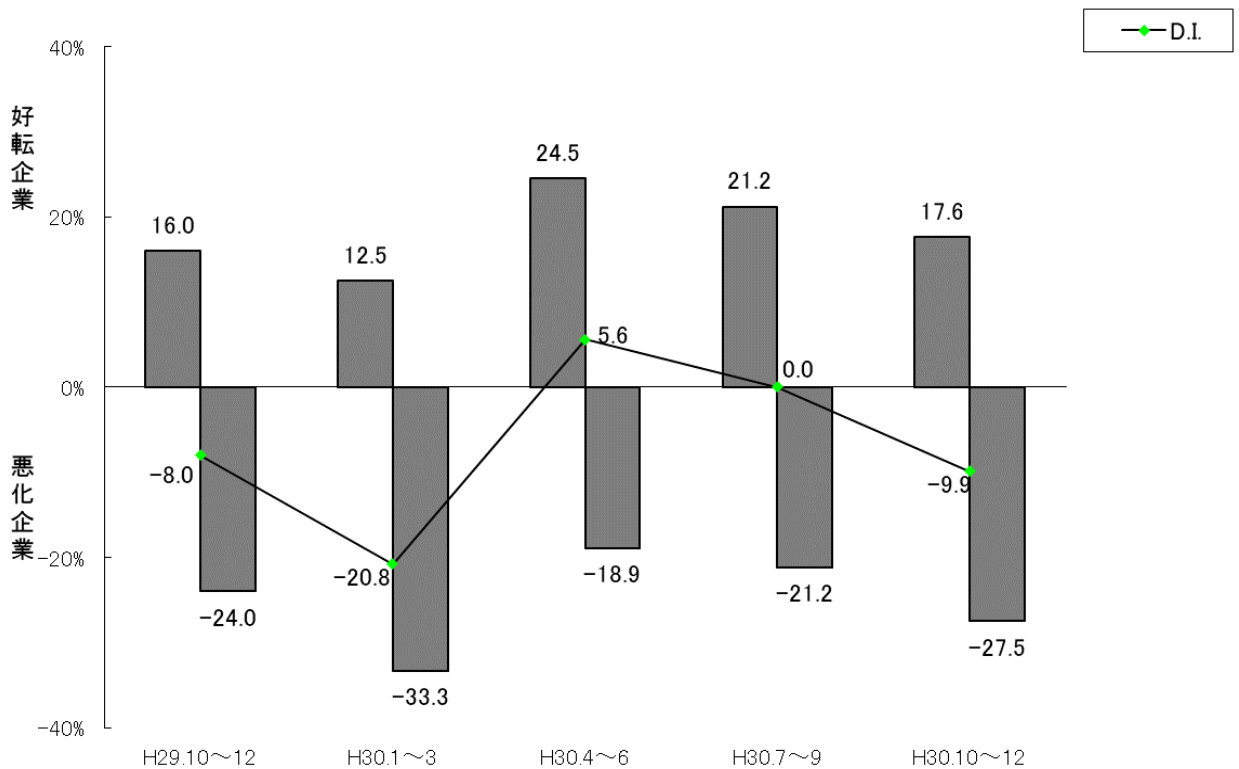
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -

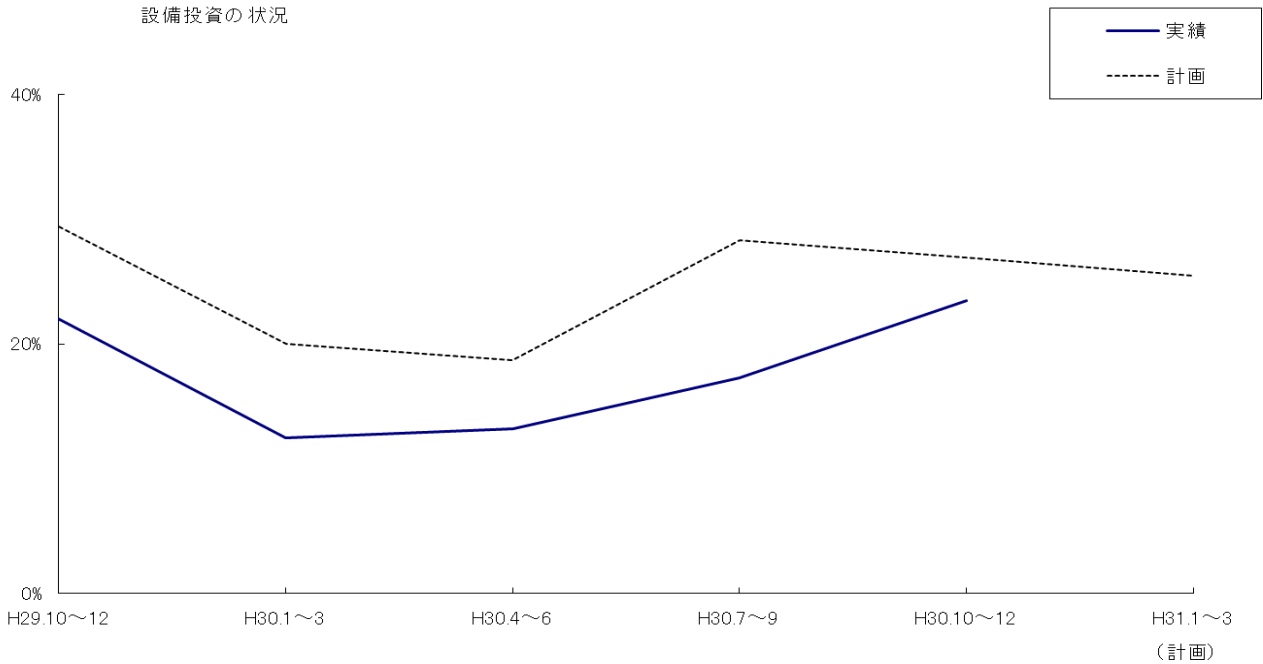


製造業 (商工会地域)

4.設備投資の状況

広島 製造業

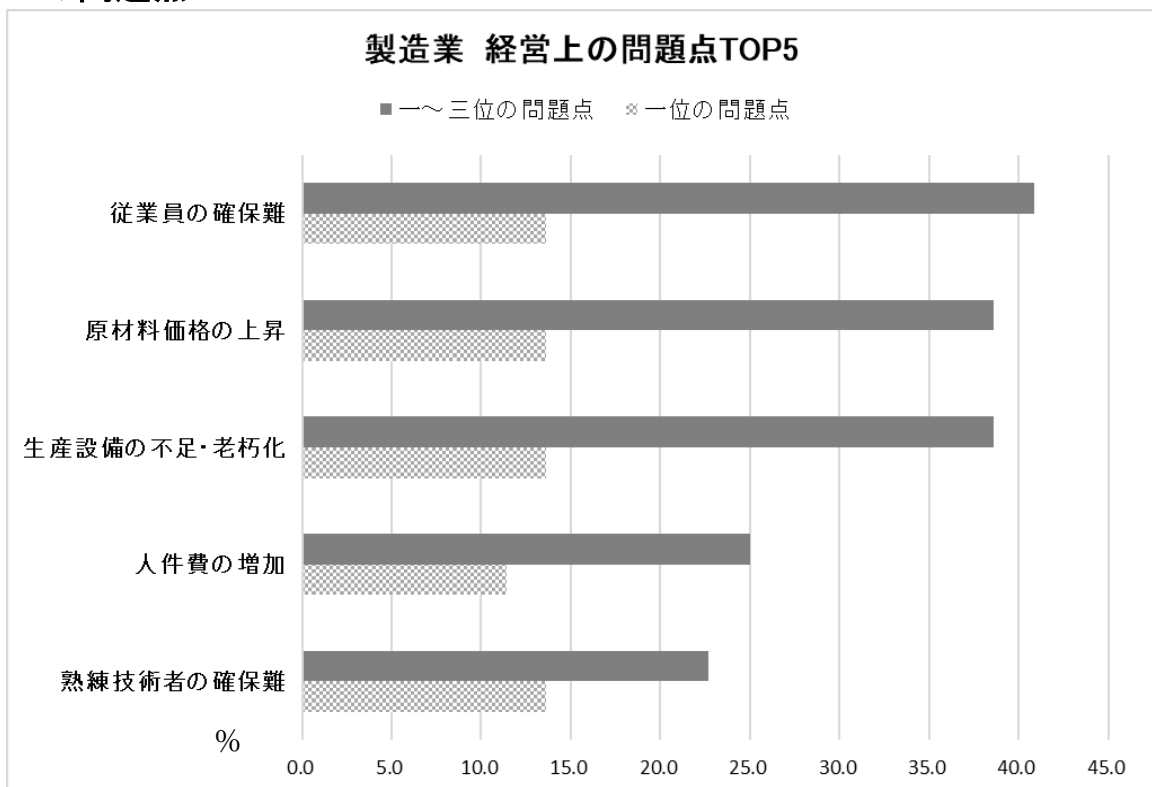
設備投資の状況



製造業 新規設備投資(件数)

	あり	投資内容							
		土地	建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
今期実施	12	1	2	7	1	1	3	1	1
来期計画	13	1	2	8	2	0	6	1	1

5.経営上の問題点



建設業 (商工会地域)

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	(前期)	(今期)		(来期見通し)	
	H30.7～9	H30.10～12	前期との比較	H31.1～3	今期との比較
売上額 (完成工事額)	7.7	-5.1	↓	2.6	↑
材料仕入単価	41.0	51.2	↑	38.4	↓
採算	-5.1	0.0	↑	-7.6	↓
資金繰り	12.8	7.7	↓	0.0	↓

(今期)

売上額は大幅に、資金繰りは小幅に悪化。採算は小幅に改善上昇。

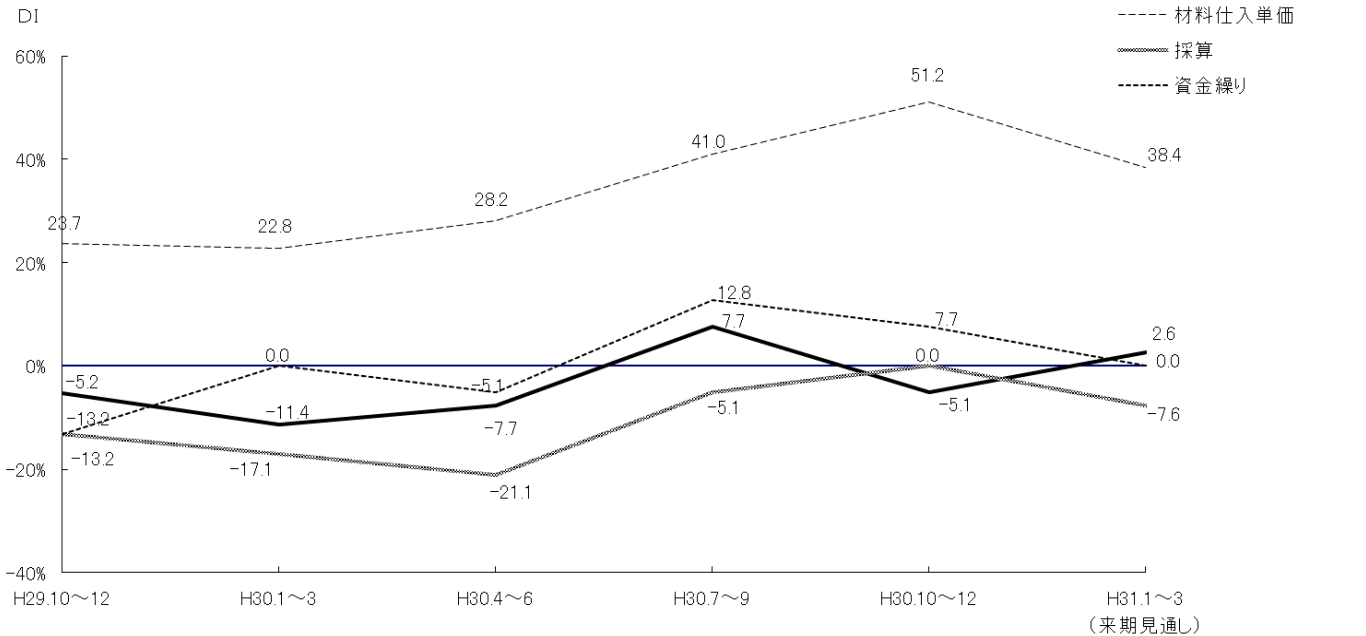
(来期見通し)

売上額は回復の見通し。

一方で採算・資金繰りともに悪化の予測。

広島 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



企業のコメント

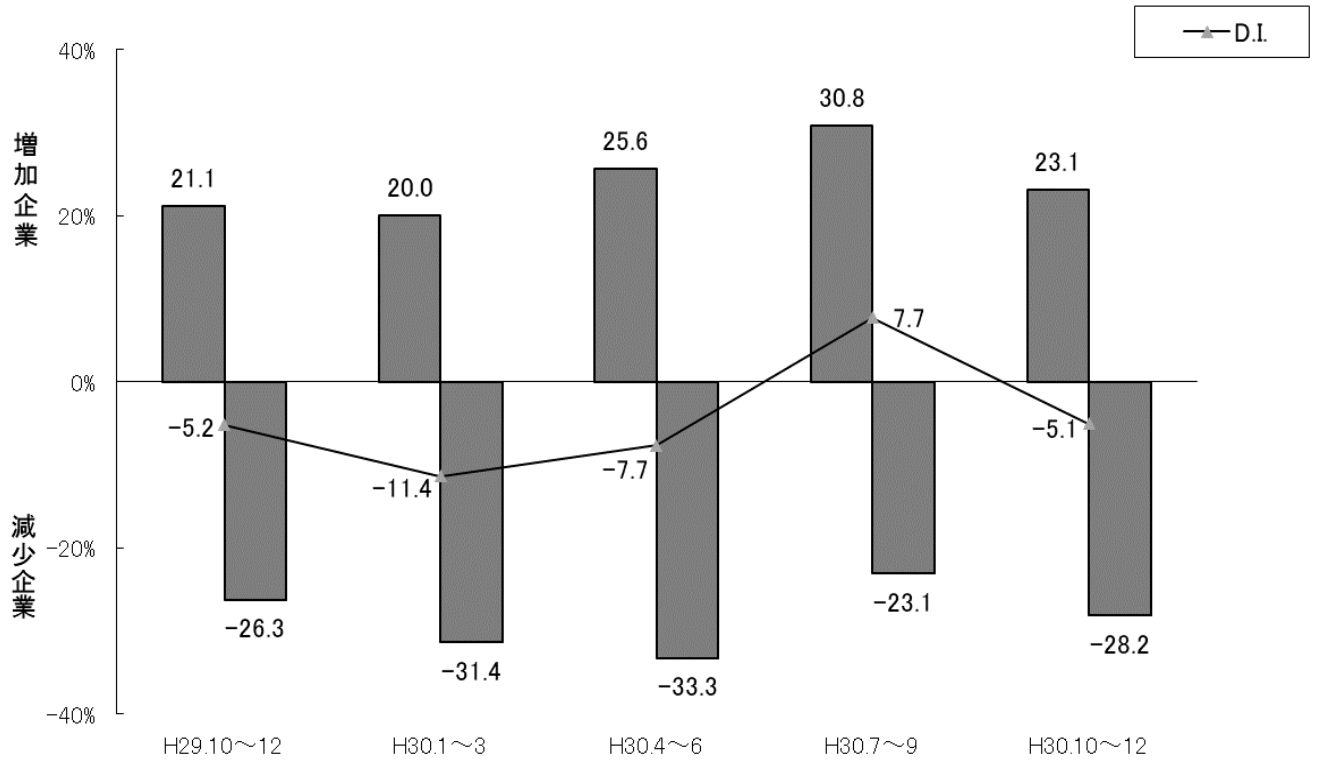
- ・ 今期の受注増加工事は、ほとんどが豪雨災害による復旧工事によるものでした。【一般土木建築工事業】
- ・ 前回の調査時と同様、土砂除去等の受注工事増加により、業況は堅調に推移している。【その他の職別工事業】
- ・ 豪雨災害による復旧工事の増加が見込まれるが、従業員が確保できないので業績の上積みができそうにない。【管工事業(さく井工事業を除く)】
- ・ 地域で大手会社のトラックや他の業者の車をよく見かける。地元業者というより、営業力のある会社に仕事を頼むのが増加してきているように感じる。【大工工事業】
- ・ 人材不足による従業員の確保が難しい。【大工工事業】
- ・ 下請業者の確保が難しい。【鉄骨・鉄筋工事業】
- ・ 取引先からの引合いが、例年になく冷え込んでいます。引合いがあっても条件が合わないとかで手が出せない。社会保険の規制が厳しくなっていて、応援として入るのが困難になってきている。【電気通信・信号装置工事業】

建設業 (商工会地域)

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島 建設業

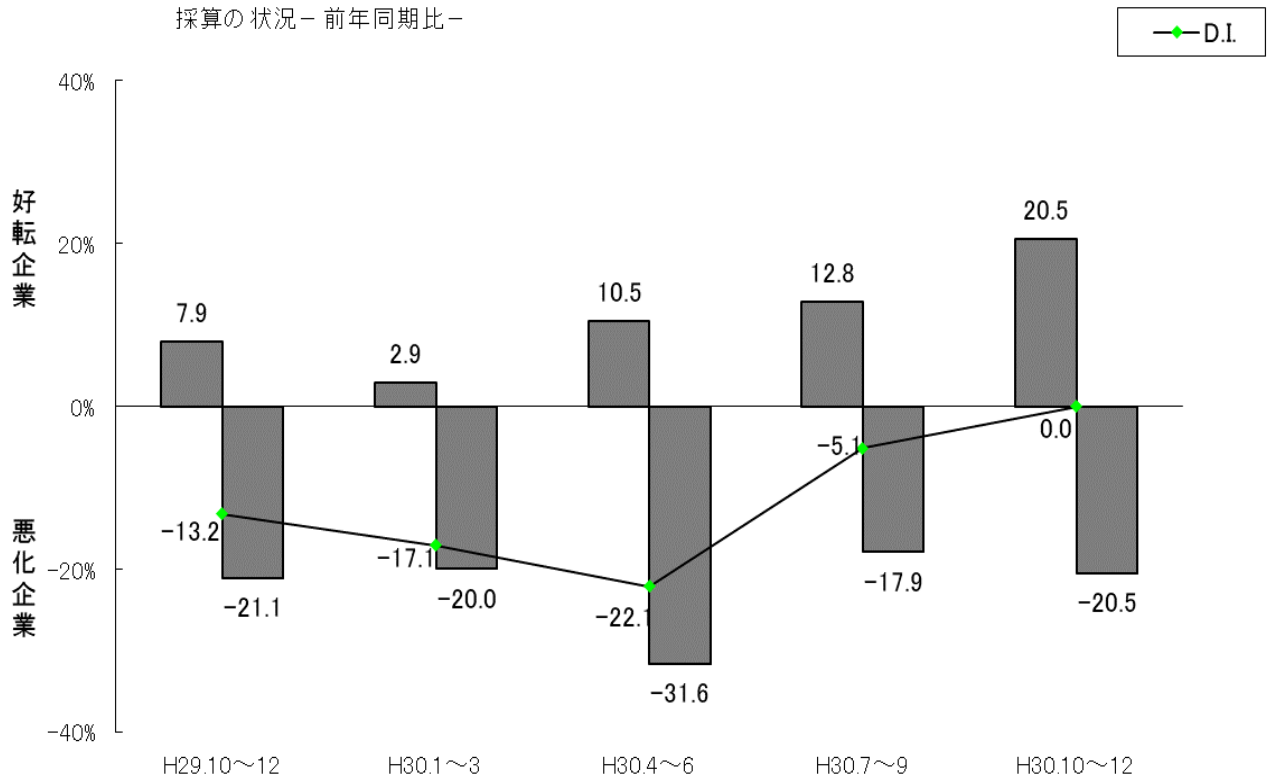
売上額(完成工事額)の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 建設業

採算の状況 - 前年同期比 -

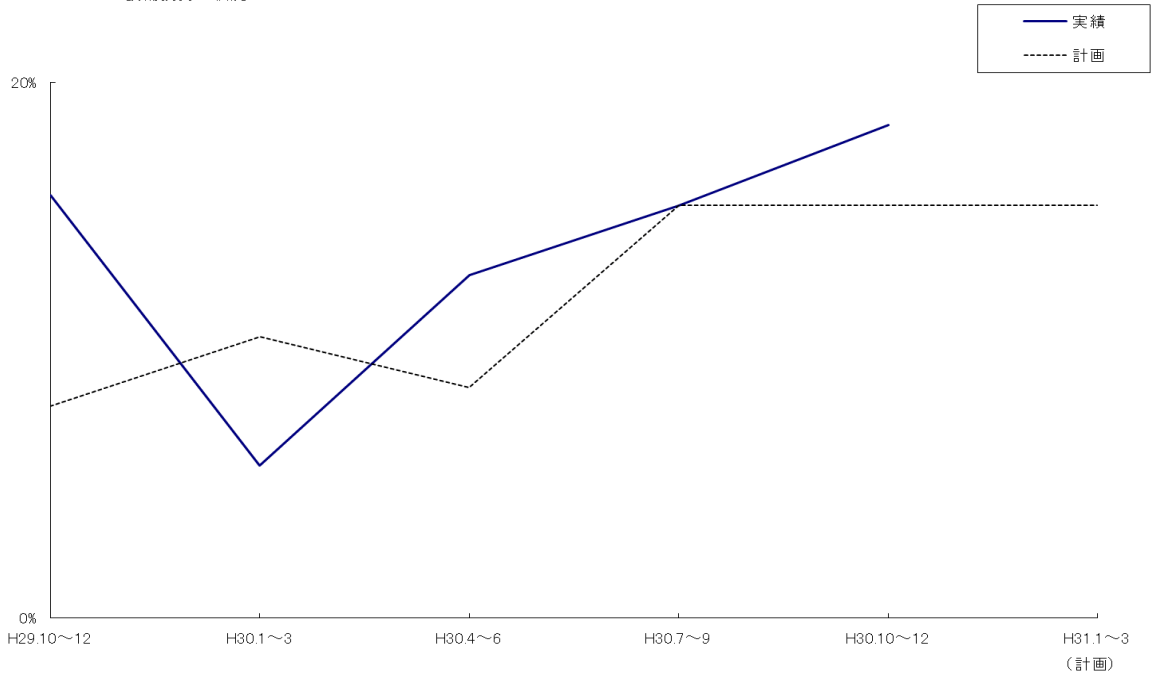


建設業 (商工会地域)

4.設備投資の状況

広島 建設業

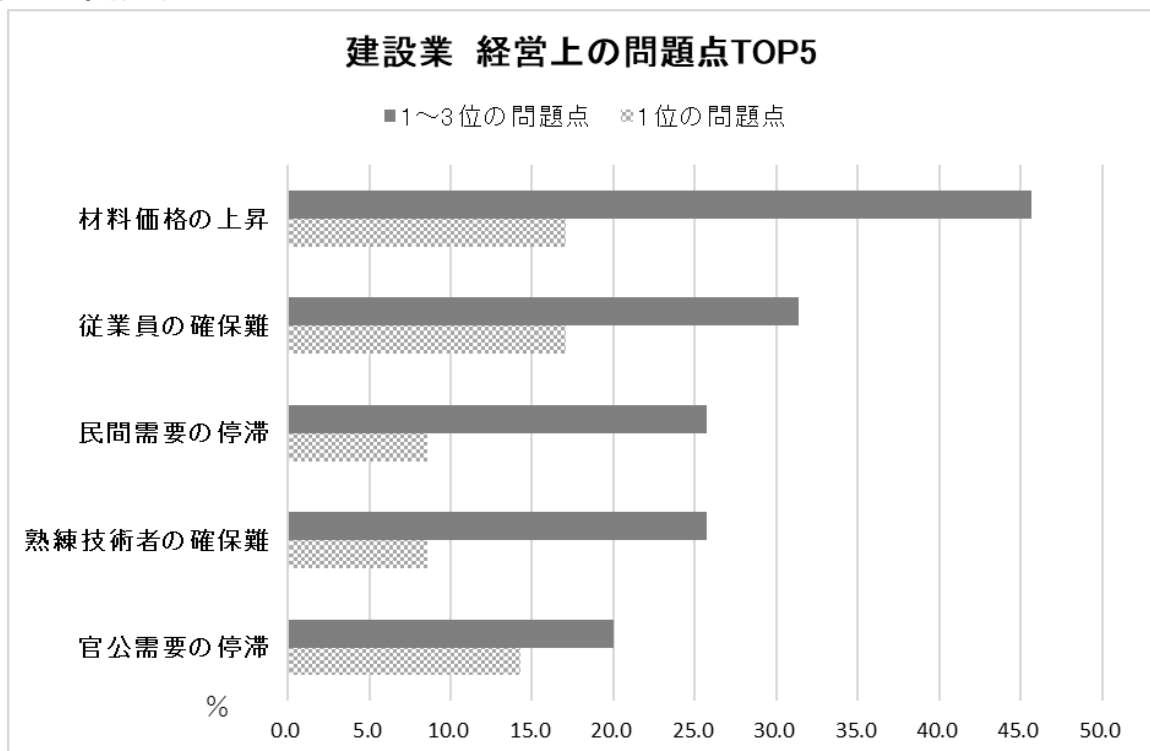
設備投資の状況



建設業 新規設備投資(件数)

	あり	投資内容							
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
今期実施	7	0	0	4	3	0	1	1	0
来期計画	6	0	1	2	3	1	1	1	1

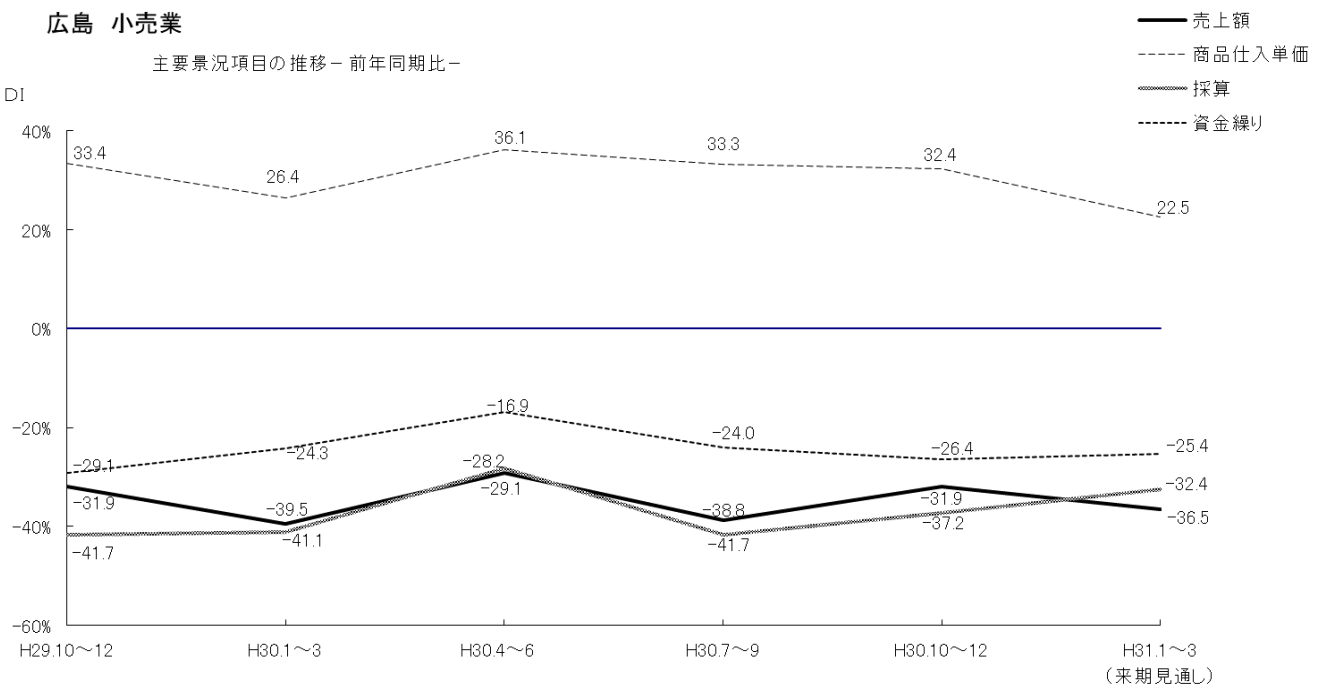
5.経営上の問題点



小 売 業 (商工会地域)

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	H30.7～9	H30.10～12	前期との比較	H31.1～3	今期との比較	
売 上 額	-38.8	-31.9	↗	-36.5	↘	(今期) 売上額・採算ともに小幅に回復。 資金繰りの下降傾向は継続。
商品仕入単価	33.3	32.4	→	22.5	↘	(来期見通し) 売上額はやや悪化、採算は小幅ながら 上昇継続、資金繰りは横ばいの見通し。
採 算	-41.7	-37.2	↗	-32.4	↗	
資 金 繰 り	-24.0	-26.4	↘	-25.4	→	



企業のコメント

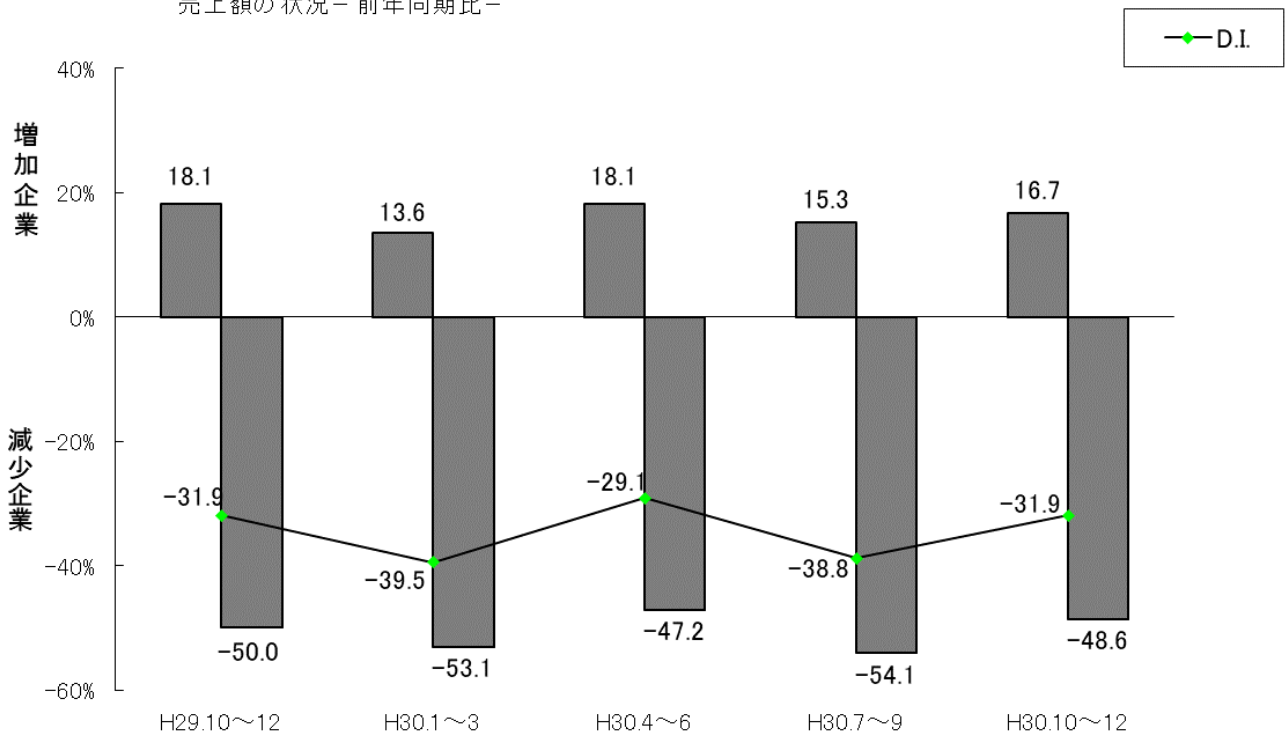
- ・ この数か月の間に、町内、隣町の食料品店が閉店し、一時的に来店客数が増加している。【その他の飲食料品小売業】
- ・ 町内に同業者が少なくなると、競争もできないし、活気も感じられない。このまま衰退していくのかと心配になります。【各種食料品小売業】
- ・ 仕入単価の上昇は続いているが、利益率は何とか現状維持。売上の減少は取引先の売上減(1社)が影響。店舗での売上は落ちていない。【鮮魚小売業】
- ・ 豪雨災害の影響が10月後半から客数が少なく売上や商品回転が悪くなっている。売れ筋商品も特に見えなく、購買意欲も低く感じられ、今秋冬のファッションアパレル業界は厳しい感じがする。【その他の織物・衣服・身の回り品小売業】
- ・ 今回の豪雨災害で、我社も大きな被害にあった。しかし復興需要のおかげで、現状では業況も好転している。数か月または数年後まで復興需要は見込まれているが、こういう不況の下で、自社の方向性も含めて良い方向にもっていきたい。【燃料小売業】
- ・ ここ半年内に2件もの同業店が閉店した影響で、急に忙しくなり売上は上がった。今後の業況は様子見となるだろう。相変わらず仕入単価の変動が激しく、それをすぐ売上単価に反映できればいいのだが…。【燃料小売業】

小売業 (商工会地域)

2.売上額 -前年同期比-

広島 小売業

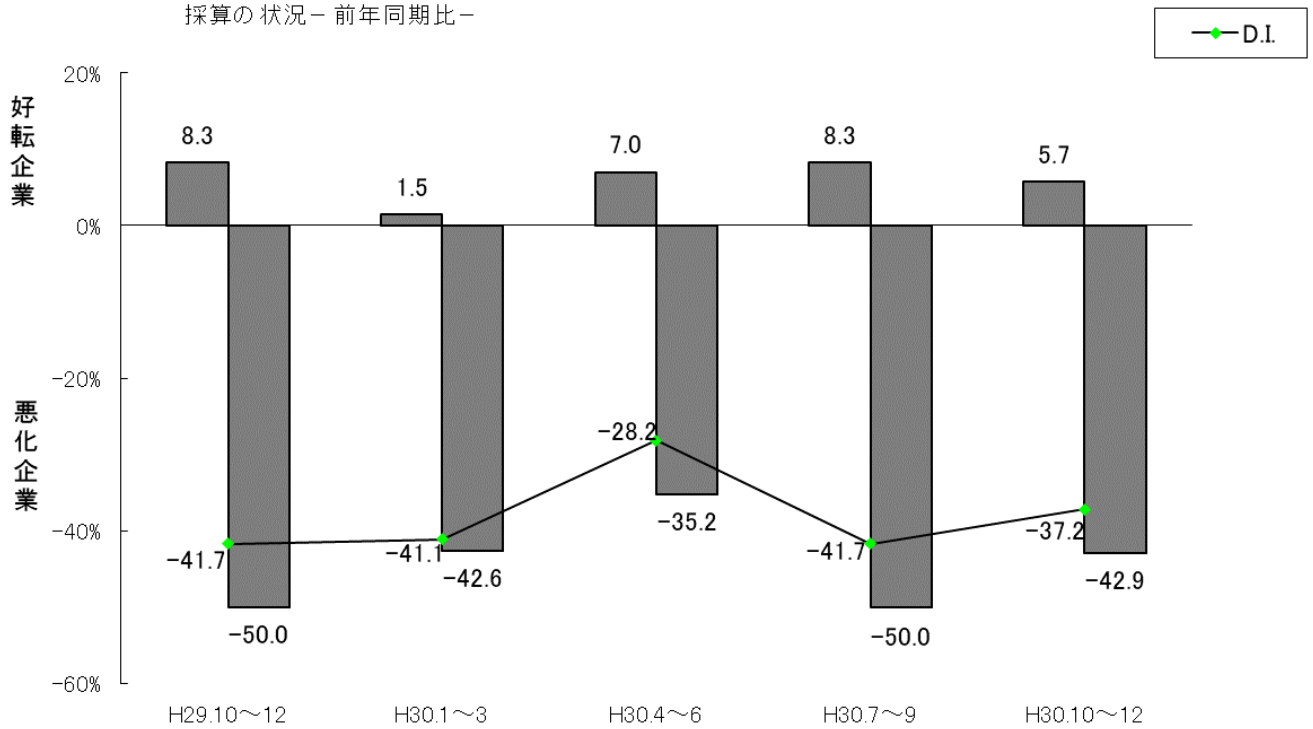
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

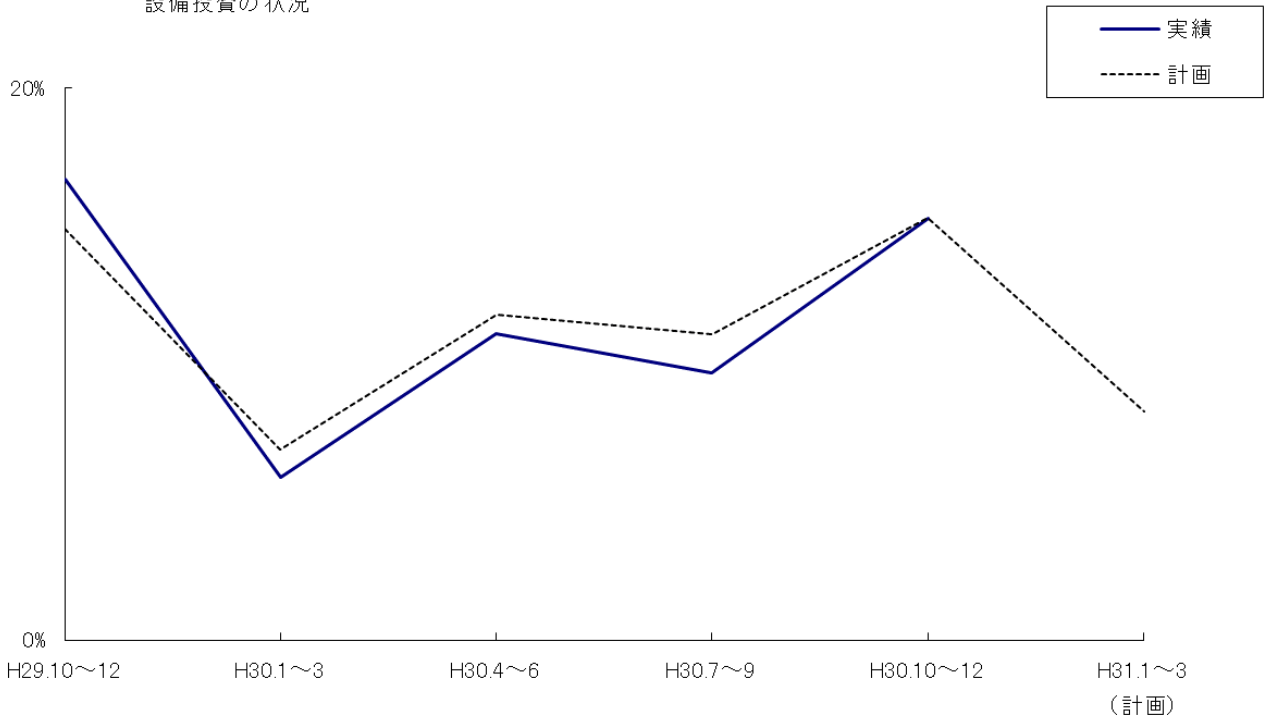


小 売 業 (商工会地域)

4.設備投資の状況

広島 小売業

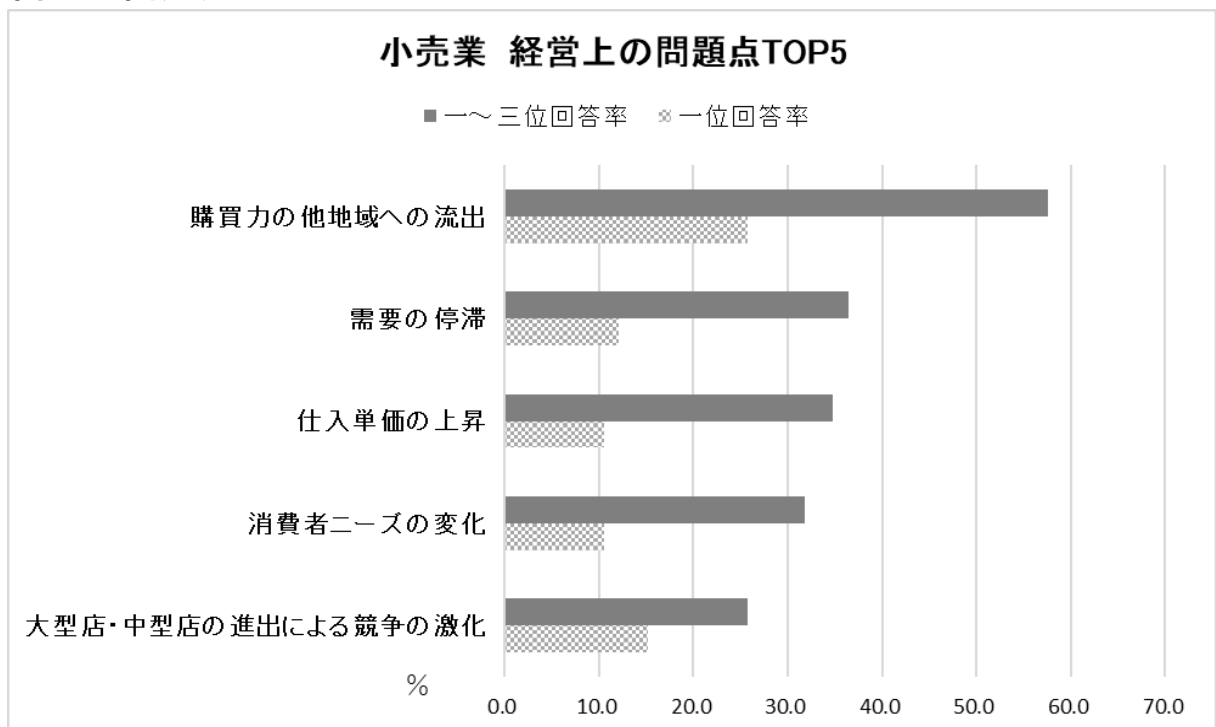
設備投資の状況



小売業 新規設備投資(件数)

	あり	投資内容							
		土地	店舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
今期実施	11	0	2	4	4	0	3	0	1
来期計画	6	0	2	2	2	2	2	0	0

5.経営上の問題点



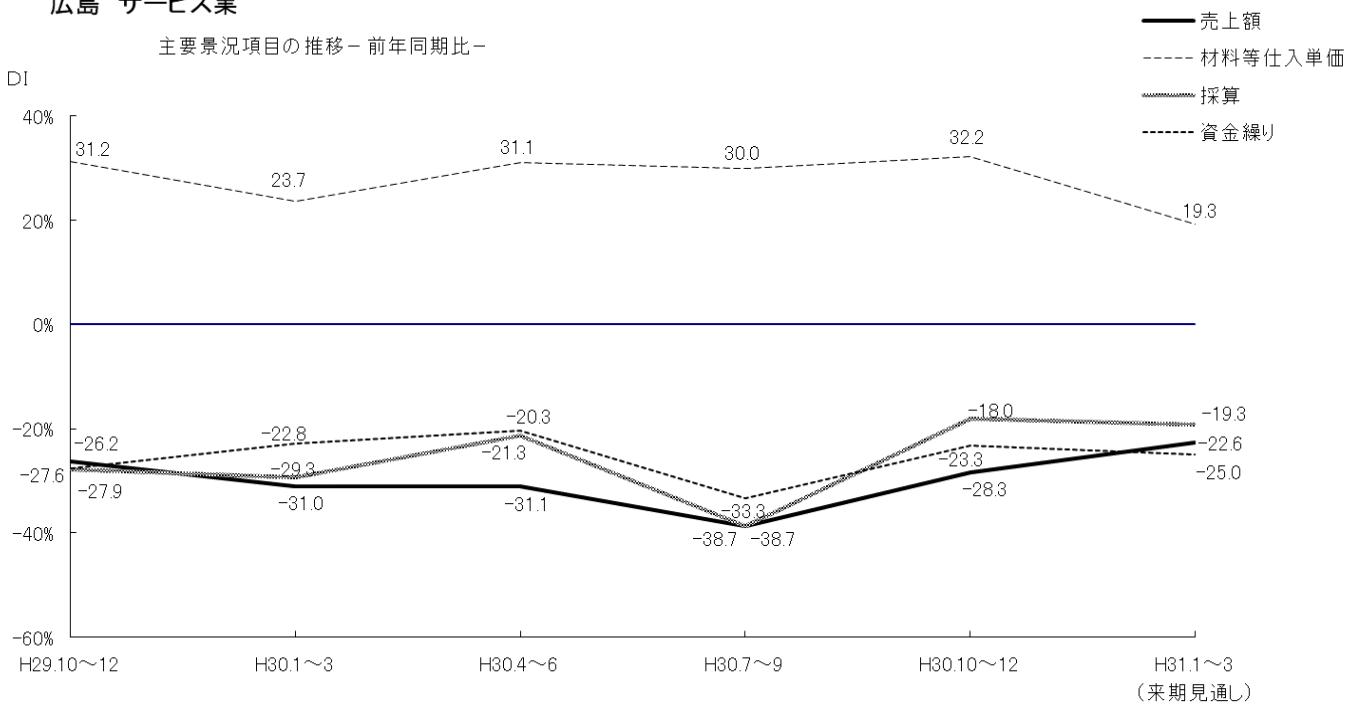
サービス業 (商工会地域)

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)		(今期)
	H30.7～9	H30.10～12	前期との比較	H31.1～3	今期との比較	(来期見通し)	
売上額	-38.7	-28.3	↗	-22.6	↗		売上額・採算・資金繰り、いずれも大幅に改善上昇。
材料等仕入単価	30.0	32.2	↗	19.3	↘		
採算	-38.7	-18.0	↗	-19.3	→		(来期見通し) 売上額は引続き改善傾向。
資金繰り	-33.3	-23.3	↗	-25.0	→		採算・資金繰りはほぼ横ばいの見通し。

広島 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



企業のコメント

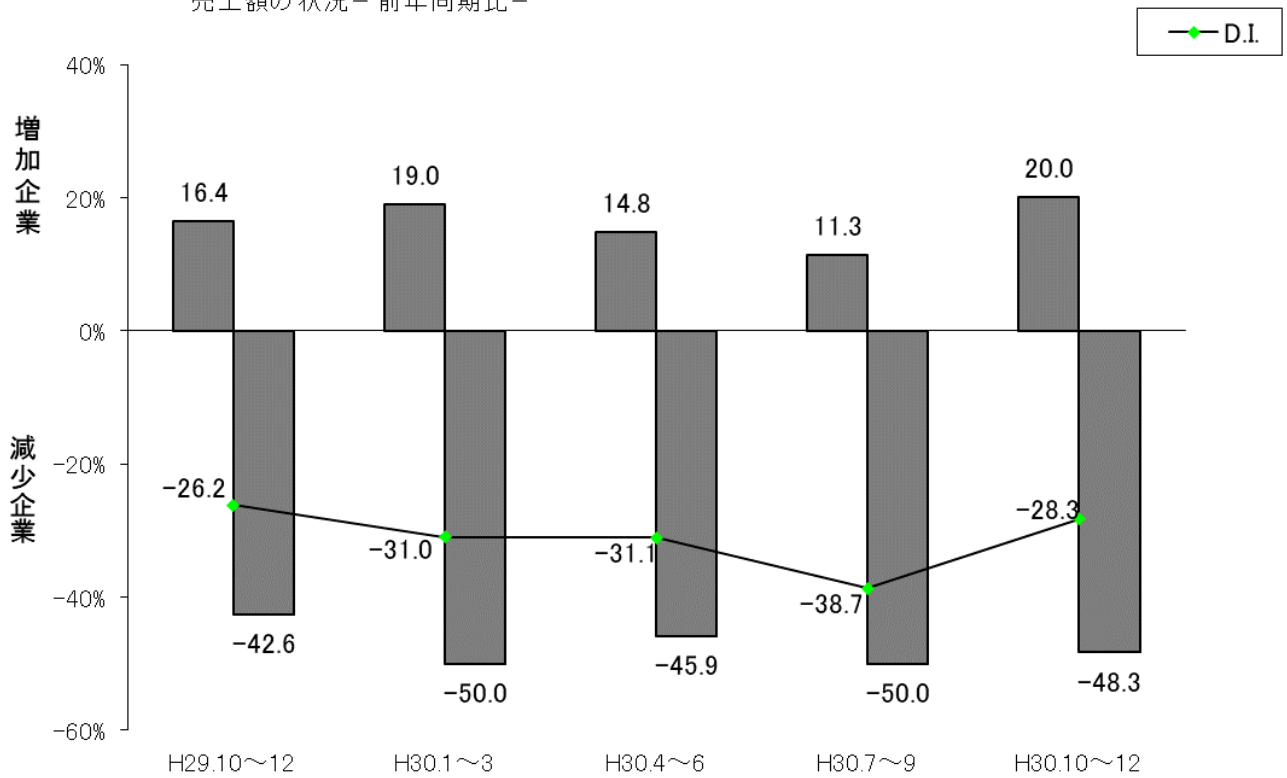
- ・ 利用客等に変化は無いが、人材不足を感じている。募集するが見つからない状況。【自動車整備業】
- ・ 災害復旧も進み、交通機関も元に戻ってきたので、昨年と同様に戻ってきた。【一般乗用旅客自動車運送業】
- ・ ベテラン乗組員の確保がとても難しい状況にある。オリンピック後の荷物の輸送量の予想も立ちにくく、代替え船や中古の船の購入はできる状況ではない。【沿海海運業】
- ・ 豪雨災害後の客足の遠のきが直接打撃を与え、事業継続の困難さが増すこととなった。今後の事業をどうしていくのか、将来に向けて判断、決断を迫られる時を迎えていると感じる。【食堂、レストラン(専門料理店を除く)】
- ・ 豪雨災害に伴うキャンセル大量発生により、経営に大きな打撃を受けた。【旅館、ホテル】
- ・ 昨年よりの災害による来館者の減少と多方面で類似施設ができる中で、集客が困難である。【その他の宿泊業】
- ・ 店舗立地条件が悪いので店側から販売を促すための努力が大切になっている。日々の作業に追われ計画が立てられない。まずは短いスパンの計画から実行するのも良いかもしれない。【美容業】
- ・ 12月より孫に事業を承継する。11月から店内改装工事に入っているため、11月の売上はない。12月以降、来期の見通しについては承継後の目標値等である。【理容業】

サービス業 (商工会地域)

2.売上額 -前年同期比-

広島 サービス業

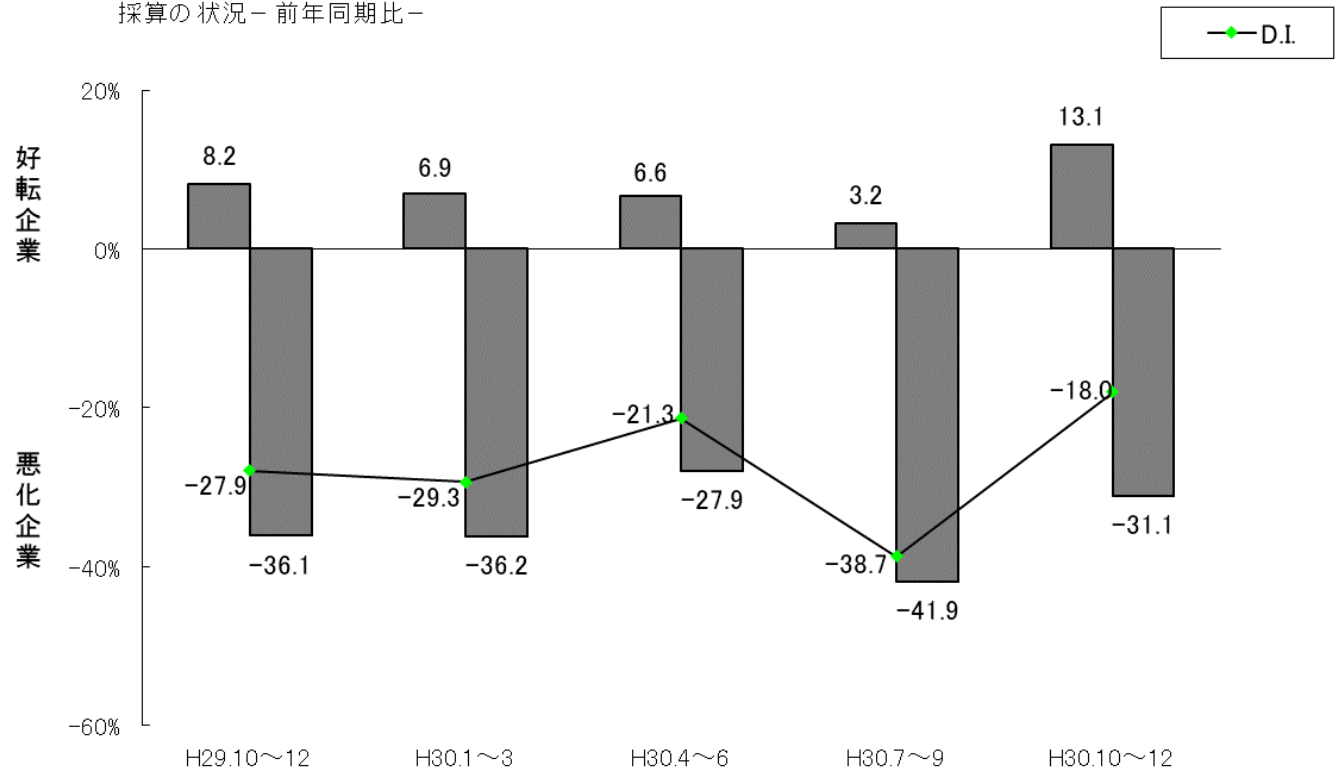
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 サービス業

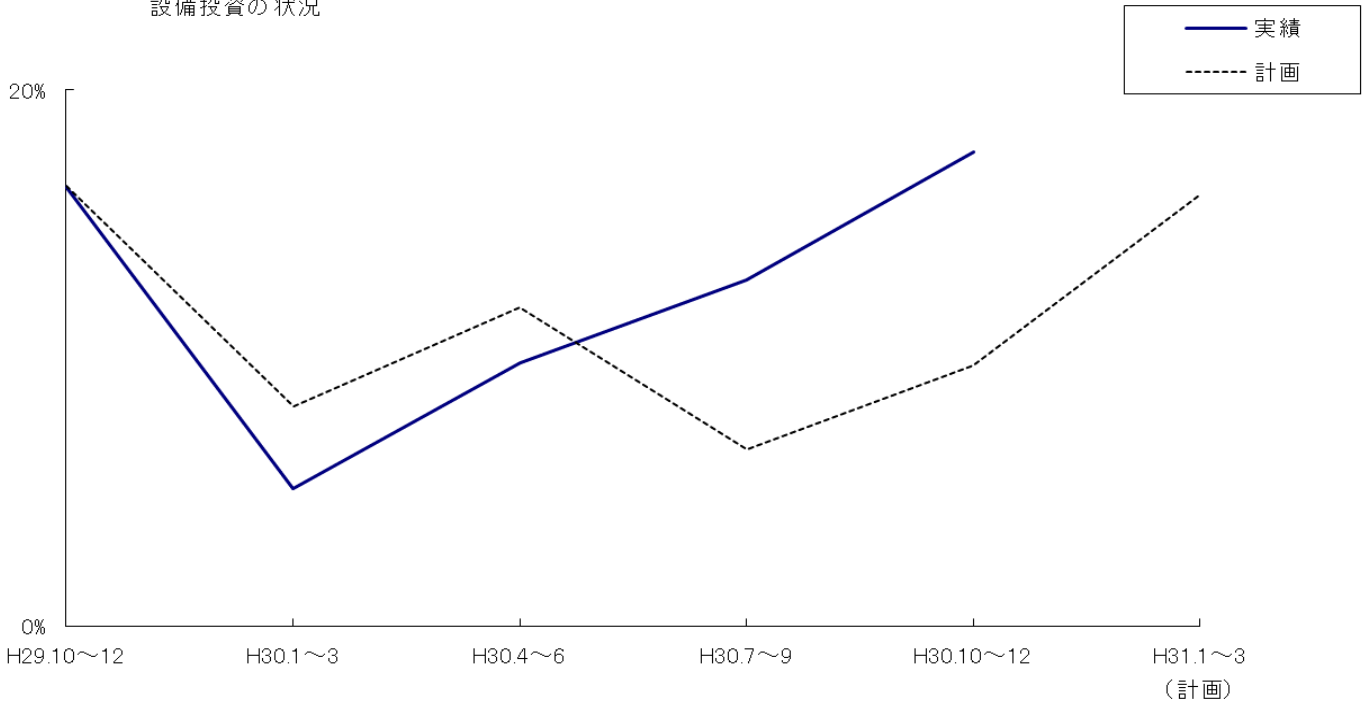
採算の状況 - 前年同期比 -



サービス業 (商工会地域)

4.設備投資の状況

広島 サービス業
設備投資の状況



サービス業 新規設備投資(件数)

	あり	投資内容							
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他
今期実施	11	1	1	5	1	3	1	0	1
来期計画	10	1	3	2	3	3	1	1	2

5.経営上の問題点

